

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 6 月 8 日 (2006.6.8)

【公開番号】特開 2000-122344 (P2000-122344A)

【公開日】平成 12 年 4 月 28 日 (2000.4.28)

【出願番号】特願 平 11-287582

【国際特許分類】

G 0 3 G 9/087 (2006.01)

G 0 3 G 9/09 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 9/08 3 8 1

G 0 3 G 9/08 3 2 1

G 0 3 G 9/08 3 6 1

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 14 日 (2006.4.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 着色剤、ラテックス及び 2 つの凝集剤を混合し、次いで凝集及び融合することを含む、トナーの調製方法。

【請求項 2】 トナーの調製方法であって、以下のステップを含む；

着色剤、ラテックス乳濁液、第 1 の凝集剤のポリアルミニウムヒドロキシハライド及び第 2 の凝集剤のカチオン性界面活性剤を混合し、

塩基を添加し、次いで凝集及び融合を行い、前記凝集がラテックスに含有されたポリマーのガラス転移温度をほぼ下回る温度で加熱することにより達成され、次いで凝集体の安定化のために塩基を添加し、前記融合がラテックスに含有されたポリマーのガラス転移温度をほぼ上回る温度で加熱することにより達成され、

次いで前記トナーを単離させる、ことを含む、

トナーの調製方法。

【請求項 3】 第 1 の凝集剤がポリ塩化アルミニウムであり、第 2 の凝集剤がアルコニウムベンズアルコニウムクロライド、ジアルキルベンゼンアルキルアンモニウムクロライド、アルキルベンジルメチルアンモニウムクロライドまたはアルキルベンジルジメチルアンモニウムブロマイドである、請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】 凝集温度が約 45 ～ 約 55 であり、融合又は合体温度が約 85 ～ 約 95 であり、樹脂を含むラテックス、イオン性界面活性剤及び着色剤を混合し、得られた混合物を前記樹脂のほぼガラス転移温度以下の温度で加熱し、トナー凝集体の安定化のために塩基を添加し、得られた凝集体を前記樹脂のほぼガラス転移温度以上の温度で加熱し、トナーを単離し、洗浄し、乾燥させること、を含む請求項 1 又は 3 に記載の方法。